

Ⅲ 津波避難道路の整備について

1 避難路の選定

「旭市津波避難計画」において下図に示す海岸部から内陸側へ向かう12路線を避難路に指定します。

飯岡地区では、国道126号を越えて、標高が40m以上の三川、横根及び塙の高台または上永井公園までを避難路として指定します。また、旭地区では、津波避難場所に指定されている中央小学校、第二中学校、旭中央病院看護学校等まで至る路線を避難路として指定します。なお、避難路のうち、幅員の狭い区間や避難の際に支障となる障害物がある区間については、改良工事を計画します。



図3.2-1 避難路の指定

2 避難路優先整備路線の選定

避難路のうち、既存住宅地が密集している地区、海水浴場など集客施設が集中している地区等を通る3路線を優先整備路線として選定します。

下図に示す、飯岡海水浴場から移転改築される新飯岡中学校へ至る（仮称）横根三川線、及び矢指ヶ浦海水浴場から旭中央病院看護学校へ至る（仮称）椎名内西足洗線については、一部で現道拡幅はあるものの新設道路です。いずれも観光客が集中する海水浴場に近接した路線で、甚大な津波被害を受けた地区にあり、早期に整備・供用することを目指す路線です。

また、（仮称）中谷里仁玉線については旭地区に位置し、市民の憩いの場である、あさひパークゴルフ場から第一中学校まで至る路線です。ほぼ現道拡幅の道路であり、この路線も早期に整備することを目指しています。

これら3路線は災害時の救急・復旧活動を行ううえでも重要な路線であり、基幹的な路線として位置づけます。



図 避難路優先整備路線（3路線）

3 避難路優先整備路線の延長と幅員の考え方

(1) 延長の考え方

避難路優先整備路線は、千葉県による浸水予測範囲外に位置する津波避難場所まで至る区間を整備対象区間とします。

(2) 幅員の考え方

幅員は下図に示すとおり、車道と歩道を含めて12.0mとします。

車道は、片側3.0mの2車線道路に、路肩を0.5mずつ確保して計7.0mとします。その車道幅があれば、緊急時に3車線を確保することが可能です。また、歩行者の安全な避難を確保すること、道路沿いのブロック塀や家屋の倒壊により車道がふさがれることを避けるため、車道の両側に2.0mずつ歩道を確保します。

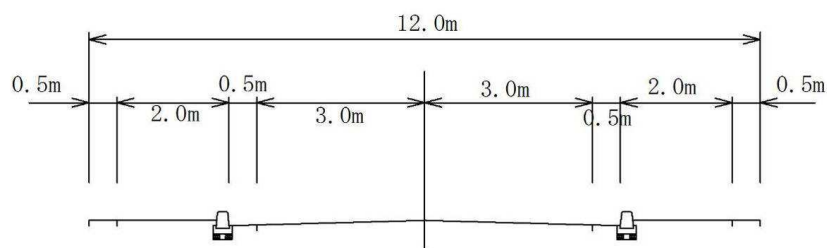


図 避難路の車道幅員・歩道幅員

4 避難誘導看板の配置

(1) 位置情報看板

位置情報看板とは、現在地、津波避難ビルや避難施設の位置を示す看板です。海水浴場や公園、公共施設等、多くの人の目に触れる場所に配置し、多くの情報を的確に提供する目的で設置します。

位置情報看板は、特に観光客などの多いいいおかみなと公園、飯岡海水浴場、矢指ヶ浦海水浴場ならびに、あさひパークゴルフ場の出入口に配置する計画です。



図 位置情報看板の例 (いいおかみなと公園)

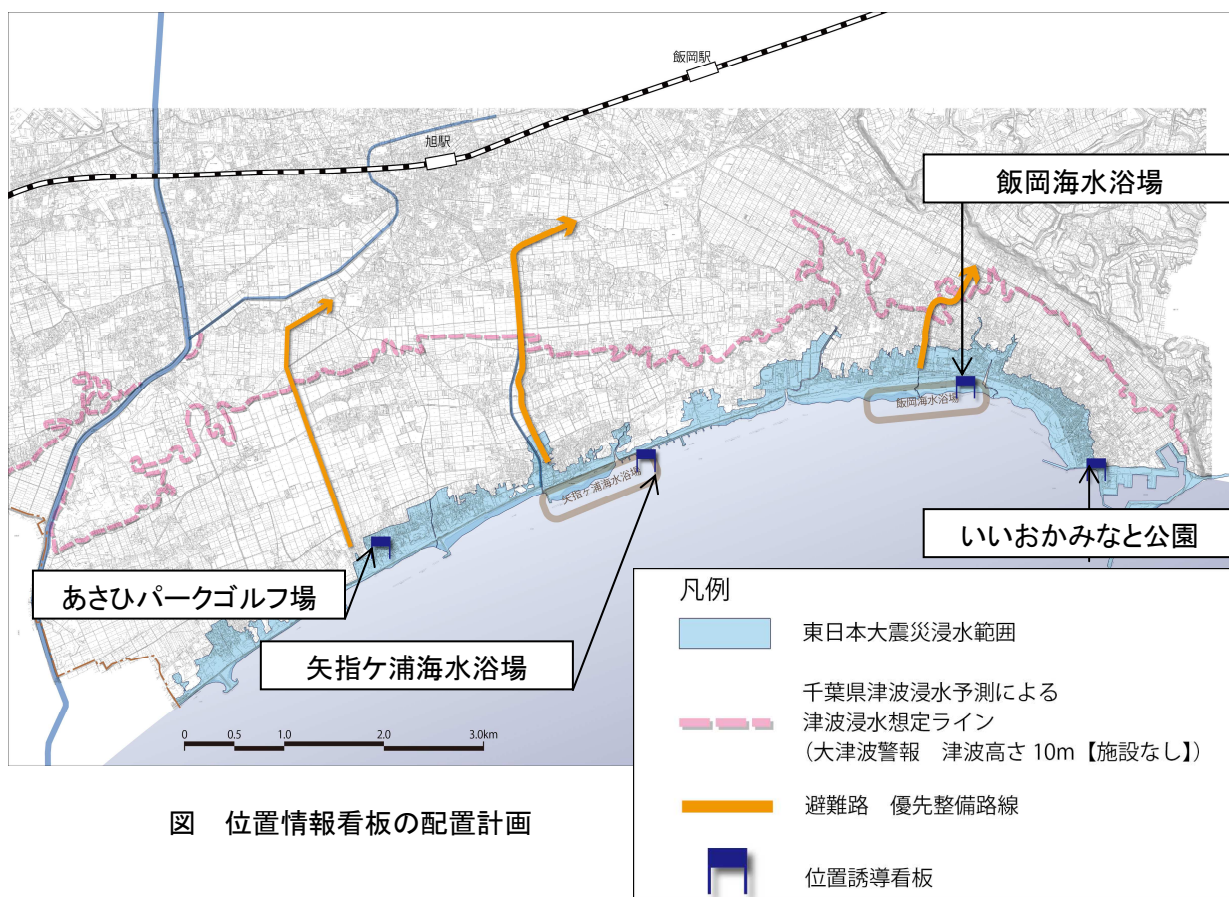


図 位置情報看板の配置計画

(2) 避難路指定看板

避難誘導看板は、避難の際にどの方向に、どのくらいの距離を移動すると避難施設に達することができるかという情報を示す看板で、津波避難計画において指定された避難路に設置します。瞬時に情報を提供するため、少ない情報を的確に示す看板であり、矢印や短い単語で示される看板が多く、夜間でも見やすいよう蓄光方式で計画します。



図 誘導看板の例

(3) 避難場所表示看板

避難場所表示看板は、公共施設など避難場所に指定されている施設であることを示す看板です。避難場所の正門や出入口付近など、見やすい場所に配置します。

下図と下表に示すとおり、小中学校や津波避難タワー等の施設（21箇所）に計32基の看板を配置します。

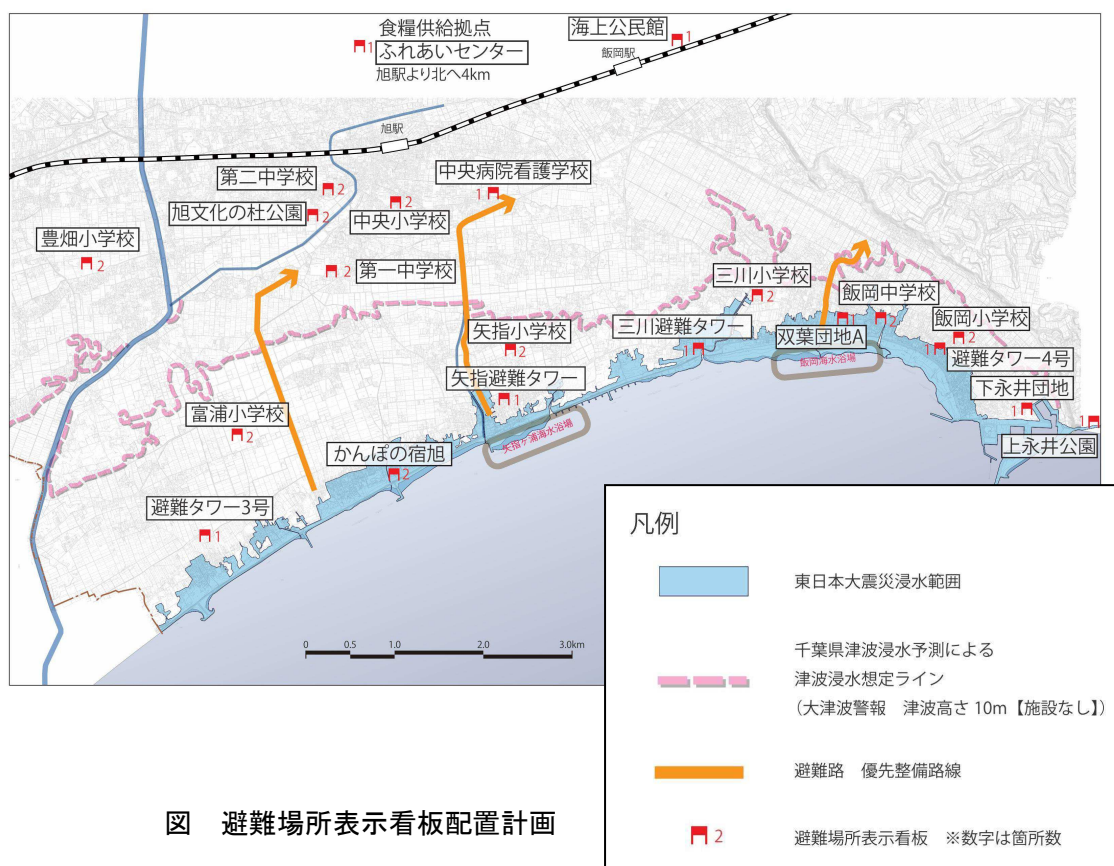


図 避難場所表示看板配置計画

表 避難場所表示看板設置場所

	避難施設名	場所	指定	看板数
1	矢指小学校	椎名内1278	津波避難ビル	2
2	富浦小学校	中谷里3383-2	津波避難ビル	2
3	飯岡小学校	飯岡2020-1	津波避難ビル	2
4	三川小学校	三川4643	津波避難ビル	2
5	飯岡中学校	萩園1267	津波避難ビル	2
6	かんぼの宿旭	仁玉2280-1	津波避難ビル	2
7	下永井団地	飯岡3491	津波避難ビル	1
8	双葉団地A	萩園1243-7	津波避難ビル	1
9	矢指避難タワー	椎名内1173-2 (椎名内西町区民館隣)	津波避難タワー	1
10	三川避難タワー	三川5885-2 (飯岡体育館駐車場)	津波避難タワー	1
11	避難タワー3号	神宮寺地区	津波避難タワー	1
12	避難タワー4号	飯岡地区	津波避難タワー	1
13	中央小学校	ハの74	津波避難場所	2
14	豊畑小学校	井戸野2738	津波避難場所	2
15	第一中学校	ハの2304	津波避難場所	2
16	第二中学校	ニの2510-1	津波避難場所	2
17	中央病院看護学校	イの1182	津波避難場所	1
18	海上公民館	高生1	津波避難場所	1
19	上永井公園	上永井1306	津波避難場所	1
20	ふれあいセンター	入野1355-1	食糧供給拠点	1
21	旭文化の杜公園	ハの250-1	物資集積拠点	2

計 32

(4) 海拔標示板

海拔標示板は、避難訓練や防災教育など、日頃から津波への意識を高めるための看板です。千葉県が発表した津波高10mの浸水予測範囲内の電柱や避難施設に指定されている公共施設などに設置します。色や文字の大きさなど、デザインは下図に示す通りです。



海拔標示板の例（旭市飯岡地区電柱）



海岸エリア



海上・干潟・高台等

図 海拔標示板デザイン